

### Ⅲ 埋蔵文化財事業

#### 1 発掘調査（現地調査）

開発行為に伴う埋蔵文化財の発掘調査（現地調査）を以下のとおり行った。

##### (1) 村山浅間神社遺跡

所在地：富士宮市村山 1242-3

期 間：平成 25 年 12 月 9 日から  
平成 25 年 12 月 16 日まで

面 積：約 12 m<sup>2</sup>

目 的：公衆トイレ等建築工事に伴う  
記録保存

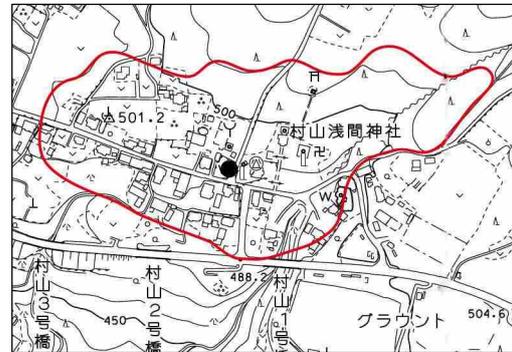


図 2 位置図 (S=1/10000)

##### 《遺跡の概要》

村山浅間神社の境内地から、西側一帯の平坦地にかけて広がる遺跡である。村山浅間神社境内では、平安時代の住居跡が確認されているほか、かつての興法寺に関する建物跡、諸施設が残されている。また、集落内には明治初年まで存続した村山三坊の屋敷跡などがある。

##### 《主な遺構・遺物》

中世 遺物：土師器

近現代 遺構：石列

遺物：陶磁器、土管

##### 《調査の成果》

村山で昭和 30 年代まで山伏として活動していた秋山家の跡地で、明治時代以降と思われる石列 1 列が検出された。遺物は中世の土師器片や、近現代と思われる陶磁器片・土管片等が出土した。



写真 24 石列



写真 25 出土遺物

(2) 城山遺跡

所在地：富士宮市元城町 1689

期 間：平成 26 年 1 月 28 日から  
平成 26 年 2 月 25 日まで

面 積：約 264 m<sup>2</sup>

目 的：公園遊戯施設整備工事に伴う  
記録保存



図 3 位置図 (S=1/10000)

《遺跡の概要》

浅間大社遺跡と大宮城跡背後の富士山方向の高台に位置し、城山公園とその北側を範囲とし、弥生土器・土師器が散布している。南側の浅間大社遺跡には、弥生時代後期の土器片が出土している。

《主な遺構・遺物》

弥生 遺構：方形周溝墓

弥生 遺物：土器

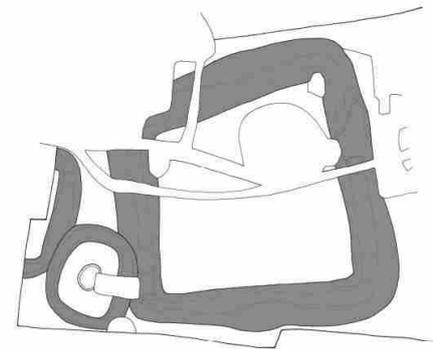


図 4 遺構平面図

《調査の成果》

弥生時代後期の方形周溝墓 3 基が検出された。方形周溝墓の検出は市内で 4 例目である。潤井川対岸にあたる星山丘陵の滝戸遺跡などに対応する遺跡で、弥生文化の富士山側台地への進出の軌跡を知ることができる発見となった。



写真 26 方形周溝墓



写真 27 出土遺物 (弥生土器)

(3) 大中里坂下遺跡

所在地：富士宮市大中里 867-1 ほか

期 間：平成 26 年 2 月 3 日から  
平成 26 年 3 月 28 日まで

面 積：約 220 m<sup>2</sup>

目 的：宅地造成工事に伴う記録保存

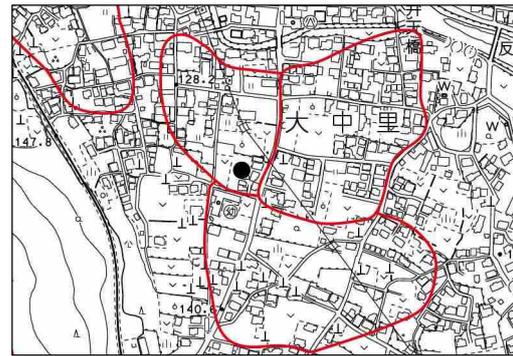


図 5 位置図 (S=1/10000)

《遺跡の概要》

市内南西部の羽鮒丘陵と星山丘陵が接する北向きの緩斜面にある。大中里保育園北側一体を埋蔵文化財包蔵地とし、滝戸遺跡と並ぶ有力遺跡である。平成 16 年の発掘調査では多量の縄文土器・弥生土器・土師器が出土した。

《主な遺構・遺物》

縄文 遺物：土器・石器

弥生 遺物：土器

《調査の成果》

遺構は検出されなかったが、遺物は表土層から地盤層までのほぼすべての層に混入しており、50mほど北側で平成 16 年度行われた発掘調査と同様の 2 次堆積層が広がっていた。遺物の量は多量であることから、遺跡の主体部は南方の高台に広がっていることが想定できる。



写真 28 発掘状況



写真 29 出土遺物（縄文土器）

## 2 市内遺跡発掘調査事業（補助事業）

国・県の補助金を受け、埋蔵文化財の調査を以下のとおり実施した。

- (1) 史跡富士山「山宮浅間神社」  
所在地：富士宮市山宮 740-1 ほか  
期 間：平成 25 年 11 月 11 日から  
平成 26 年 3 月 20 日まで  
面 積：約 200 m<sup>2</sup>  
目 的：史跡整備のための事前調査

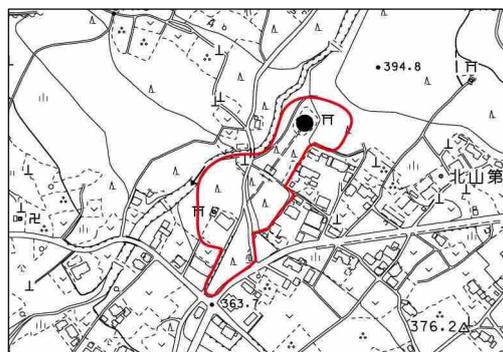


図 6 位置図 (S=1/10000)

### 《遺跡の概要》

山宮浅間神社の境内地から南側一帯にかけて広がる遺跡である。遺跡内にある山宮浅間神社は富士山本宮浅間大社の故地とされ、神体である富士山を直接拝む遥拝所が、富士山の溶岩流末端の高台にある。遥拝所には石列が配置され、本殿等の建物がなく直接神体を遥拝する古代の祭祀形態が残されているとされている。調査により 12 世紀末から近世に至るまでの、祭事に関わる遺物が出土している。

### 《調査の概要》

史跡整備事業に伴い、遥拝所前の展望場整備予定地にトレンチを設定し調査した。また、遥拝所の周囲を聖域として区画する石塁の範囲を確定し、その周囲の遺構の有無を確認するため、石塁外側にトレンチを 4ヶ所設置して調査した。

### 《主な遺構・遺物》

中世・近世 遺構：石列（配石遺構）

中世・近世 遺物：土師器・陶磁器

### 《調査の成果》

遥拝所の一部は中世より数回にわたって造成がなされ、石列を設置して祭祀場としていたことが判明した。遥拝所を囲む玉垣の下部には石列が確認され、遥拝所を囲む石塁の外側には、石塁構築に関わる遺構が確認された。



写真 30 石列（配石遺構）



写真 31 完掘状況

### 3 試掘・確認調査

開発行為に伴う埋蔵文化財の試掘・確認調査を以下のとおり行った。

表3 埋蔵文化財の試掘・確認調査一覧表

番号	遺跡名	所在地	調査期間	調査面積	時代	主な遺構	主な遺物
①	二ノ宮遺跡	光町 2-1	H25.5.7 - 8	15 m <sup>2</sup>	古墳	なし	土師器
②	福伝遺跡	大中里 974-1 ほか	H25.5.13	23 m <sup>2</sup>	縄文	なし	土器
③	代官屋敷遺跡	小泉 2239-1 ほか	H25.8.7 - 13	53 m <sup>2</sup>	縄文	なし	土器 石核
④	大中里坂下遺跡	大中里 867-1 ほか	H25.8.19 - 29	30 m <sup>2</sup>	縄文～ 古墳	なし	土器
⑤	石敷遺跡	小泉 643-1 ほか	H25.11.26 - 27	8 m <sup>2</sup>	弥生～ 古墳	なし	土器
⑥	城山遺跡	元城町 1689	H26.1.21 - 24	450 m <sup>2</sup>	弥生	方形 周溝墓	弥生 土器
⑦	村山浅間神社遺跡	村山 1156-2	H26.2.24	6 m <sup>2</sup>	なし	なし	なし

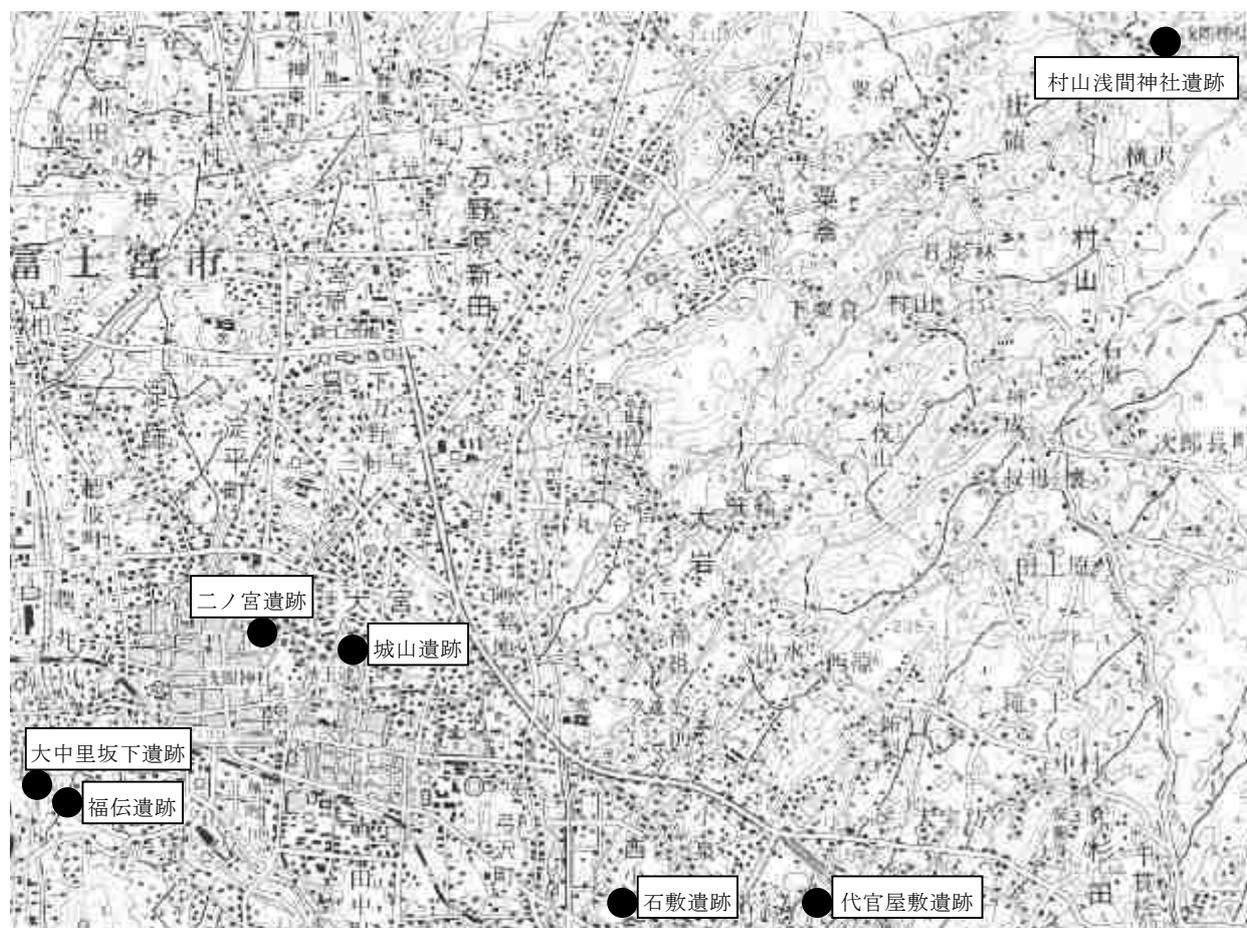


図7 確認調査実施箇所位置図 (S=1/50000)

遺構・遺物が確認された調査は、以下の6件であった。

(1) 二ノ宮遺跡

《遺跡の概要》浅間大社裏手の高台にあり、古墳時代の遺物が採集されている。

《調査の概要》耐震性貯水槽設置工事に伴う事前の確認調査で、対象地にトレンチ2本を設定して実施した。

《主な遺構・遺物》古墳 遺物：土師器

《調査の成果》古墳時代後期の土師器が3点出土したが、遺構に伴うものではない。また、地表からは古墳～中世の土器が採集された。



写真 32 トレンチ 1 完掘状況



写真 33 出土遺物

(2) 福伝遺跡

《遺跡の概要》市内南西部の羽鮒丘陵と星山丘陵が接する北向きの緩斜面にある。平成2年の確認調査では縄文土器や打製石斧が出土している。

《調査の概要》宅地造成工事に伴う事前の確認調査で、対象地にトレンチ3本を設定して実施した。

《主な遺構・遺物》縄文 遺物：土器

《調査の成果》縄文土器が3点出土したが、遺構に伴うものではない。地表からは縄文土器片が採集されている。



写真 34 トレンチ 3 完掘状況



写真 35 出土遺物

### (3) 代官屋敷遺跡

《遺跡の概要》市内南東部で富士山から扇状に広がる舌状台地末端部の南向き斜面上にある。西富士道路建設に伴い昭和 53 年から行われた発掘調査では、縄文時代早期の遺物が出土し、前期から中期の竪穴住居跡が検出されている。

《調査の概要》宅地造成工事に伴う事前の確認調査で、対象地にトレンチ 3 本を設定して実施した。

《主な遺構・遺物》縄文 遺物：土器・石核

《調査の成果》縄文土器と石核が数点出土したが、対象地は斜面であり遺跡主体部からの流れ込みと判断された。



写真 36 トレンチ 2 完掘状況

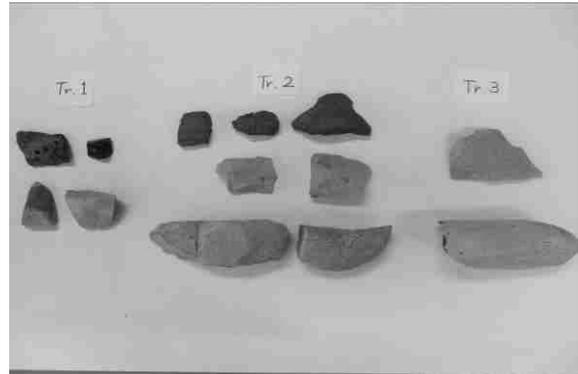


写真 37 出土遺物

### (4) 大中里坂下遺跡

《遺跡の概要》市内南西部の羽鮒丘陵と星山丘陵が接する北向きの緩斜面にある。平成 16 年の発掘調査では多量の縄文土器・弥生土器・古墳時代の土師器が出土した。

《調査の概要》宅地造成工事に伴う事前の確認調査で、対象地にトレンチ 4 本を設定して実施した。

《主な遺構・遺物》縄文 遺物：土器・石器

弥生 遺物：土器

古墳 遺物：土師器

《調査の成果》調査範囲に比して多量の土器・石器が出土し、さらに地表からも土器片が採集された。遺物を包含する密度は高いが、遺構は確認されなかった。



写真 38 トレンチ 2 完掘状況

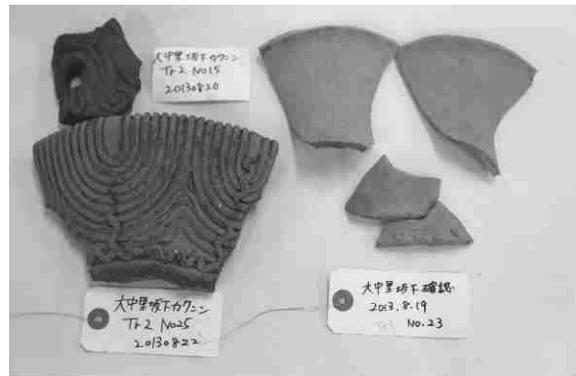


写真 39 出土遺物

### (5) 石敷遺跡

《遺跡の概要》市内南東部で富士山から扇状に広がる舌状台地末端部の南西向き斜面にある。

弥生土器や土師器が採集されている。

《調査の概要》宅地造成工事に伴う事前の確認調査で、対象地にトレンチ2本を設定して実施した。

《主な遺構・遺物》弥生 遺物：土器

古墳 遺物：土師器

《調査の成果》耕作に伴い大規模な地形の改変が行われたようで、地盤層にまで攪乱が及んでいる場所もあり全体的に堆積層が薄くなっている。遺物は旧耕作土内から見つかったものである。



写真 40 トレンチ 3 完掘状況



写真 41 出土遺物

### (6) 城山遺跡

《遺跡の概要》市街地北側の高台にあり、浅間大社遺跡と大宮城跡背後の富士山方向に位置する。弥生土器・土師器が散布している。

《調査の概要》公園遊戯施設整備工事に伴う事前の確認調査で、対象地にトレンチ3本を設定して実施した。

《主な遺構・遺物》弥生 遺構：方形周溝墓 遺物：土器

《調査の成果》弥生時代後期の方形周溝墓2基が検出され、周溝から弥生土器が出土した。トレンチ2・3では遺構・遺物は確認できなかった。



写真 42 調査区全景



写真 43 出土遺物

## 4 発掘調査報告書作成

### (1) 大宮城跡（元富士大宮司館跡）

報告書名：『元富士大宮司館跡Ⅱ』

遺跡所在地：富士宮市元城町 1060-4

調査期間：平成 25 年 4 月 15 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

調査目的：療育支援センター建設に伴う記録保存

#### 《遺跡の概要》

大宮城跡は、富士山本宮浅間大社の大宮司館跡を中心とした遺跡で、北神田遺跡と重複することから古墳・奈良・平安時代の生活跡を含んでいる。過去の調査では、古墳時代の集落跡も検出されている。

#### 《調査の成果》

古墳時代中・後期の竪穴住居跡と、元富士大宮司館跡（大宮城跡）に関わる、武田氏により築かれた新たな堀が検出された。遺物は主に古墳時代の土師器と中世の土師器が出土している。また、古墳時代の鉄鏃や緑泥片岩製の管玉など、祭祀を予想できる遺物も出土している。



写真 44 発掘調査報告書

## 5 富士宮市埋蔵文化財センターの整備

平成 22 年 3 月の富士宮市と芝川町との合併以降、未利用施設となっていた旧芝川町保健福祉センターを、発掘調査の整理や出土遺物の保管・展示を行うための「富士宮市埋蔵文化財センター」として再整備した（平成 26 年 6 月にオープン）。

平成 25 年度は次年度のオープンにむけて、施設の改修工事、展示ケース・展示台作成等の事業を国・県の補助金を受けて実施した。



写真 45 展示室



写真 46 収蔵庫

## IV 郷土資料館事業

### 1 展示

#### (1) 常設展示

富士山の信仰、富士山麓の動物・自然などの常設展示を行った。

#### (2) 企画展示

##### ア 「子安信仰」展（巻末資料ii）

期 間：平成25年8月24日(土)から平成26年1月14日(火)まで

内 容：杉田子安神社の奉納絵馬、子安講の掛軸など。

##### イ 「市民所蔵の富士山資料」展

期 間：平成26年2月22日(土)から平成26年3月2日(日)まで

内 容：市民が所蔵する富士山が描かれた工芸品、絵葉書、ポスターなど。

##### ウ 「富士山資料」展

期 間：平成26年3月15日(土)から平成26年6月30日(日)まで

内 容：郷土資料館が所蔵する富士山が描かれた工芸品、写真など。

#### (3) その他の展示

##### ア 長屋門「歴史の館」

長屋門「歴史の館」では、「絹本著色富士曼荼羅図」（複製）の展示や、富士宮市の歴史年表、世界遺産富士山をパネルで紹介している。

場 所：富士宮市大宮町6-22

開館時間：午前9時～午後4時30分

休 館 日：毎週火・水・木曜日、年末年始

入 館 料：無料

##### イ 大鹿窪遺跡の解説（巻末資料iii）

富士山まつり推進委員会主催イベント「柚野の里まつり」において、大鹿窪遺跡の出土遺物を展示し、遺跡の解説を行った。

日 時：平成25年10月12日（土）

場 所：富士山縄文の里大鹿館

内 容：大鹿窪遺跡出土遺物（土器、石器）の展示と遺跡の解説。



写真 47 大鹿窪遺跡展示場



写真 48 展示解説の様子

(4) 展示会関連事業

ア 「ふじのみやの道祖神」展関連企画・歩く博物館探索会「大岩地区の道祖神をめぐる」

実施日：平成 25 年 5 月 18 日（土）午後 9 時から 12 時まで

場 所：大岩地区

講 師：富士山文化課学芸員

内 容：「ふじのみやの道祖神」展（会期：平成 25 年 3 月 23 日～8 月 4 日）の関連事業として、大岩地区の道祖神を見学する現地学習会を実施した。（歩く博物館探索会として実施）

参加者：27 人

イ 「子安信仰」展関連企画・歩く博物館探索会「狸寺と子安神社をたずねる」

実施日：平成 25 年 10 月 23 日（水）午後 9 時から 12 時まで

場 所：杉田地区

講 師：伊藤忠正（歩く博物館解説員）

内 容：「子安信仰」展（会期：平成 25 年 8 月 24 日～平成 26 年 1 月 14 日）の関連事業として、地域における子安信仰中心地のひとつである杉田子安神社などを見学する現地学習会を実施した。（歩く博物館探索会として実施）

参加者：26 名

## 2 資料収集・保存管理

(1) 資料収集

表 4 平成 25 年度受入資料一覧

受入月	内容	収集方法
平成 25 年 4 月	民俗資料 1 点	現地採集
4 月	歴史資料 1 点	（寄託）
5 月	醤油製造関連資料 11 点	個人寄贈
6 月	写真資料 1 点	個人寄贈
7 月	民俗資料 2 点	現地採集
7 月	民俗資料 3 点	個人寄贈
7 月	民俗資料 2 点	現地採集
7 月	民俗資料 1 点	現地採集
8 月	民俗資料 1 点	現地採集
8 月	民俗資料 1 点	現地採集
8 月	民俗資料 1 点	現地採集
9 月	民俗資料 2 点	個人寄贈
9 月	民俗資料 2 点	個人寄贈
9 月	民俗資料 2 点	個人寄贈
平成 26 年 1 月	富士山山室関係資料 1 点	個人寄贈
2 月	尋常小学校教科書 5 点	個人寄贈
3 月	歴史資料 3 点	個人寄贈



写真 49 平成 25 年度収集品（醤油樽）

## (2) 保存管理

### 収蔵品等くん蒸事業

日 時：平成 26 年 3 月 3 日(月)から 3 月 5 日(水)まで

場 所：被覆くん蒸（旧芝川町保健福祉センター倉庫内） 約 22.5 m<sup>3</sup>

旧芝川町保健福祉センター倉庫（富士宮市長貫 747-1） 約 550 m<sup>3</sup>

柚野収蔵庫（富士宮市下柚野 361-1） 約 300 m<sup>3</sup>

内 容：旧芝川町保健福祉センター倉庫内において、被覆くん蒸法により、薬品名エキヒューム S による殺虫・殺カビくん蒸を実施した。あわせて、旧芝川町保健福祉センター倉庫・柚野収蔵庫では、薬品名ブンガノンによる殺虫処理を実施した。

施工業者：関東港業株式会社

## 3 古文書等解読刊行事業

### (1) 旧上野村役場文書刊行事業

旧上野村役場文書（富士宮市教育委員会所蔵）は、芝川からの用水を利用した新田開発や蒲原宿助郷役などの資料が含まれ、当時の富士宮市北部地域の生活を知る上で貴重な資料群である。

書 名：『旧上野村役場文書』

編 集：富士宮市教育委員会

発行年月：平成 26 年 3 月

頁 数：本文 113 頁・カラー口絵 2 頁

内 容：文書目録・翻刻（抜粋）・論考「天保騒動」など

頒布価格：1 冊 600 円（富士宮市教育委員会文化課で販売）

## 4 その他

### (1) 仏像等彫刻類調査

市内に所在する仏像・神像等彫刻類の調査を実施した。

大棟梁神社（神像）

点 数：1 点

概 要：調書作成、写真撮影。高橋晶子氏（富士宮市文化財保護審議会委員）に調査を依頼。

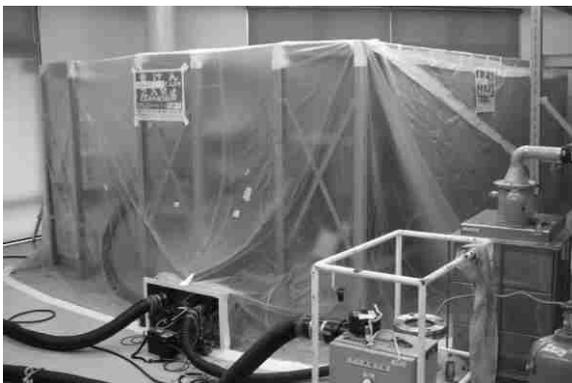


写真 50 被覆くん蒸の様子



写真 51 旧上野村役場文書

## V 歩く博物館事業

### 1 探索会

#### (1) 市主催探索会

##### 第1回（巻末資料iv）

日 時：平成25年 5月18日（土）

場 所：大岩地区「大岩地区の道祖神をめぐる」

講 師：富士山文化課学芸員

参加者：27名

その他：郷土資料館企画展「ふじのみやの道祖神」展関連企画として、探索会用に特別コースを設定して実施。

##### 第2回

日 時：平成25年10月23日（水）

場 所：杉田地区「狸寺と子安神社をたずねるコース」

講 師：伊藤忠正（歩く博物館解説員）

参加者：26名

その他：郷土資料館企画展「子安信仰」展関連企画として実施。

##### 第3回

日 時：平成26年 3月 8日（土）

場 所：北山地区「中道往還の旧道を歩くコース」

講 師：渡井正二（歩く博物館解説員）

参加者：65名

#### (2) 探索会講師派遣

平成25年10月18日（金） 市民グループ主催探索会（富士根北地区）

平成25年11月 9日（土） 市民グループ主催探索会（大岩地区）



写真52 探索会(杉田地区)



写真53 探索会(北山地区)